

久留米市立地適正化計画の改定(原案)に対する 意見募集(パブリック・コメント)の結果について

令和3年5月10日(月曜日)から令和3年6月10日(木曜日)までの期間で、久留米市立地適正化計画の改定(原案)についてパブリック・コメントを実施し、市民の皆様からのご意見を募集しておりましたが、その結果及び意見に対する回答がまとまりましたので、ご報告いたします。貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。

なお、意見の内容につきましては、原文を一部要約しています。

1 意見件数 6件(4名)

2 提出方法

方 法	人 数	件 数
持 参	4名	6件
郵 送	—	—
電子申請	—	—
F A X	—	—
合 計	4名	6件

3 意見の内訳

区 分	件 数
1. はじめに	—
2. 久留米市の現状と将来の課題	—
3. 久留米市立地適正化計画の基本方針	—
4. 居住誘導区域	—
5. 都市機能誘導区域及び誘導施設	—
6. 誘導施策の展開	—
7. 防災指針	4件
8. 計画の評価	—
9. その他(計画全体に関する意見等)	2件
合 計	6件

4 意見の概要とそれに対する市の考え方

別紙のとおり

立地適正化計画の改定（原案）に対する意見の概要及び市の考え方

7. 防災指針

No	該当頁	意見の概要	市の考え
1	P31 立地適正化計画 本編	昔、団地開発で造られたところは、地盤が弱く、地震が発生した場合は危ないと聞いた。水災害の対策も大事だが地震についてもしっかり考えて欲しい。	久留米市においては、近年、頻発・激甚化している水災害に対する安全なまちづくりへの対応が喫緊の課題です。そのため、今回の改定では、水災害に特化し立地適正化計画の改定に取り組んでおります。安全なまちづくりは、地震等の各種災害への観点が必要であると認識しており、適宜、改定を進めてまいります。
2	P31 立地適正化計画 本編	久留米市では、近年、浸水被害が毎年のように起こっているため、浸水被害が発生しないようなまちづくりを進めてほしい。	今回の立地適正化計画の改定では、近年の浸水実績も含め、安全なまちづくりに必要な対策を計画的かつ着実に講じるために取り組んでいます。防災指針に記載するハード対策・ソフト対策・土地利用規制における実施プログラムの着実な推進に取り組んでまいります。
3	P4 防災指針（別冊） 本編	想定最大規模L2は、1,000年に一度の雨と書いてありますが、現実的に起こるのか。もし、起こるのであれば、被害が出ないような住みやすい安全なまちづくりを望む。特に子供達が安心して生活できるように配慮をお願いしたい。	想定最大規模の降雨については、その地域に過去に降った雨だけでなく、近隣に降った雨が同じように発生するという考えに基づき、国において区分された地域ごとに設定されたものです。ハード整備には一定の時間を要するため、防災指針の取組方針により、安全なまちづくりを進めてまいります。
4	P30～ 防災指針（別冊） 本編	流域治水と防災指針の取組は、きちんとリンクしているのか。	防災指針は、国による流域治水の方針をもとに検討しています。国・県・市の取組についても、流域治水プロジェクト等の内容をもとに記載しています。

9. その他

No	該当頁	意見の概要	市の考え
5	P34 立地適正化計画 本編	安全なところに家を建てたいと思っている。市街化調整区域の中でも災害リスクの少ないところは、家や店を建てられるようにしてほしい。	防災・減災の視点も含め、都市計画マスタープランに掲げる「コンパクトな拠点市街地の形成と拠点をネットワークする都市構造」の実現に向け、土地利用の取組についても進めてまいります。そのような中で、令和2年6月より、鉄道駅周辺の拠点形成の観点から開発制度の見直しを行い、市街化調整区域における鉄道駅周辺については、一定の開発が可能となっています。今後、土地利用の動向を注視しつつ、必要に応じて検討してまいります。
6	P34 立地適正化計画 本編	コンパクトシティを掲げるのであれば、鉄道駅の周辺は市街化区域にしてみっと開発できるようにすべきだと思う。	